

丹波中学校だより
清流の辺
せい りゅう ほとり

平成27年7月21日(火)

No. 8

文責 丹波中学校長 梶原勝由

校外学習(職場体験) 山梨探訪

7月16日(木)・17日(金)に校外学習を実施しました。1年生は山梨

を知ることが目的の1つでした。県立博物館・善光寺・防災新館・ジュエリーミュージアム・県立図書館・山梨文化会館・印傳博物館を訪問しました。山梨文化会館では、YBSラジオに生出演し、丹波中学校のピーアールをしてきました。



2年生は、セブンイレブン甲府中央店・三晃貴石・デイサービスセンターきぼう甲府中央事業所・オギノ朝日店で職場体験を行いました。学校生活では味わうことのできない貴重な体験ができました。



宿泊場所のニュー芙蓉では、教員ともたくさんふれあい、有意義な校外学習になりました。きっと、たくさんの土産話を持ち帰ったと思います。

PTA講演会

7月9日(木)、スクールカウンセラーの山崎直先生に、「子育てのココ・マネ～家族を結ぶよりよいコミュニケーションのために～」と題して講演をしていただきました。

家庭の中で、思春期の我が子とコミュニケーションを図ることは難しいときがあると思います。そして、今の子どもが置かれている生活状況を鑑みると、これまで以上に家庭の中でのコミュニケーションが必要な時代になっていると思います。講演の「視覚優位・聴覚優位・体感優位」の話はたいへん参考になったのではないのでしょうか。



花植え交流会、老人クラブの方とともに②

7月8日(水)、船木三千男会長さんをはじめ、丹波山村老人クラブ20名の

方の協力を得て、栽培活動の一環である花植え交流会を行いました。

生徒や教員が老人クラブの方から直接豊かな経験知を教えていただくことにより、学習が深まり、自分の内面を豊かにする機会となりました。そして、地域の方との交流が今までに増して広がった活動になりました。ありがとうございました。

また、7月10日(金)には、感謝の気持ちを込めて、この花をひとり暮らしの老人の方や役場など関係機関に届けました。



弱点教科の克服は夏休みに

定期テストは授業重視

朝日中高生新聞(2015.05.17)より

定期テストはなぜ大切なのでしょう。勉強した内容を「自分で自分の力を試す・確認する」ためです。

定期テストの対策は、普段の授業を大切にすることがポイントの一つです。先生の話に耳を傾けながら、テストの情報を集めます。「ここが大切」「ノートにとりなさい」といったアドバイスは大事なサインです。赤ペンやふせんを用意しておき、教科書やノートにマーク。ノートをきれいに取ることが目的になっている人は注意が必要です。ペンを選んでいる間に大切な内容を聞き漏らしているかもしれません。

定期テスト前は、「時間の使い方」と「勉強の仕方」がポイントになります。2週間前から勉強を始め、1週間前から追い込み期間にすることを勧めます。各教科のテスト範囲を最低でも2回は復習。教科書やノート、プリントを利用するのが基本のスタイルです。

定期テストで間違えたところは必ず復習。弱点分野は夏休みにじっくり時間をかけて取り組むなど、地道にやっていくことが2学期の定期テスト対策になり、学力向上につながります。一夜漬けで点数が取れたとしても、短期間で覚えたことは忘れやすいです。

私の中学生の頃

担当は嶋崎志津香先生です。(次回は廣瀬清美先生です)

実家から徒歩1分。走ればチャイムが鳴ってからも始業に間に合うような場所にある、全校生徒約400人の甲斐市立竜王中学校が私の母校です。

部活動はソフトテニス部に所属していました。毎日朝練と放課後の練習があり、週末や夏休みもほぼ部活で予定が埋まっていた。だから、流行にのっているわけではないのに日焼けで常に顔はガン黒ギャルでした(笑)1年生は素振りと球拾いが中心。先輩は神様のような存在。部活中に片足重心で立っていると怒られる。先輩が怖かったので、自分が先輩になった時は、後輩に優しく怒ったことはありませんでした。(本当の話)

休み時間にはよく友だちと一緒に保健室に行きました、具合が悪かったわけではありません。何故か居心地が良かったのです。用もなく保健室に来る私たちを養護教諭の先生は追い払いもせず優しく向かい入れてくれました。思春期真っ盛り。色んなことに対して反抗心を持つ私たちの愚痴や文句を怒りもせず聞いてくれたのです。今の私にとっては原点とも言える中学校の保健室での思い出です。